

六甲高山植物園 神秘の花 「ヒマラヤの青いケシ」が見頃を迎えました!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が、六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、神秘の花「ヒマラヤの青いケシ」が見頃を迎えました。

当園では“ヒマラヤの青いケシ”や“ブルーピー”と呼ばれる青いケシの代表格である「メコノプシス・ベトニキフォリア」を屋外と屋内の2か所にわたり、約330株栽培しています。ヒマラヤの秘境の地に咲くとても希少な花で、園内でも一際人気を集めています。



◆メコノプシス・ベトニキフォリア(ケシ科)

ヒマラヤの奥地に生育する高さ1.6mにもなる多年草です。澄み切った青空のような美しい花が咲きます。標高3,000mを越す高山にしか見られないうえ、容易に近づくことができないヒマラヤの奥地に咲くため、“幻の花”として知られています。1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」において紹介され、一躍有名になりました。屋外(ロックガーデン)と屋内(ガラス室)2か所で植栽しており、屋外は6月上旬までお楽しみいただける見込みです。

4/28(木)~6/5(日)は特別企画「ヒマラヤの青いケシ~神秘の花の咲くところ~」も開催!

ヒマラヤの青いケシの植栽展示に加え、グッズ販売や、ヒマラヤの青いケシを国花とするブータンについてのパネル展示を行います。

詳しくはこちら→rokkosan.com/hana/event/20160204_9016/

※この特別企画及び関連展示は「日・ブータン外交関係樹立30周年記念事業」として外務省から認定をうけています。



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生~64歳)620円 / 小人(4歳~小学生)310円 / シニア(65歳以上)520円

【開園期間】3月19日(土)~11月23日(水・祝) 【休園日】9月1日(木)、8日(木)

【開園時間】10:00~17:00(16:30受付終了)